

九条北小学校 校長室だより

N0.38 令和5年2月6日



立春が過ぎ、季節は春に向かってい
く時期となりました。九条北小学校の
中庭の紅梅も咲き始めました。学校で
は1年間のしめくくりの学期を迎
え、児童たちもがんばっています。



★「新1年生保護者説明会」を実施しました！★

2月1日（水）、新1年生保護者説明会を実施しました。実施にあ
たって、マスク着用・アルコール手指消毒等の感染症対策へご協力
いただき感謝しています。

説明会では、入学までのご準備いただくことを中心にお話しました。九条北小学校でも、新1年生が安心して楽しい学校生活をお
くれるように、入学に向けて準備をすすめています。お子様のご入
学を、心よりお待ちしています。

＜入学式＞

日時：4月7日（金）

受付：9：30～9：45

開式：10：00

場所：九条北小学校 講堂

※ 就学通知書を受付へご提出ください。



新1年生のご入学を心待ちにしています！

***説明会でお伝えしましたが、保護者メールの登録をお願いいたします。**

★歩き出そう その一歩が、道をひらく！★ *児童朝会の話を紹介。

「歩き出そう その一歩が、道をひらく」をテーマに、ある本に特
集が組まれていました。最初に、こう書かれていました。「**ゆっくりでも
いい、歩幅がちいさくてもいい。自分の足で地面を踏みしめていけば、きっ
と選んだ道はまちかいではなかったと思えるはずです。**」

紹介されている中に、俳優の竹野内豊（たけのうちゆたか）さんと
黒木華（くろきはな）さんの対談がありました。対談は、テレビドラ
マ「イチケイのカラス」が映画化されることが決まったという話から
始まっていました。

その映画の中で竹野内さんが演じる人物（裁判官）は、街の人たち
と親しくしているゆえに、真実を明らかにすることが彼らを苦しめる
のではと悩みます。でも、彼らの幸せを願うからこそ、真実を明らか
にしようと「一步踏み出す勇気を」と街の人たちに語りかけるんだそ
うです。その行動を起こすのは、とても勇気がいったはずです。彼の
背中を押したのは、やっぱり「真実を明らかにしたい」という強い思
いじゃないかなと、竹野内さんは言っていました。

その竹野内さん自身が、一步前に踏み出そうというときの経験につ
いての話へと続きました。希望に満ちあふれて新たな一步を踏み出す
人もいると思うけど、**僕は未知の世界に踏み出すときは、不安や怖さを
感じます。でも、そこで踏み出さずに後悔するのかいやなんです。踏み出
して失敗しても、反省してその原因を検証することで「またがんばろう」と
いう原動力になるから。「やればよかった」という後悔は、次に何か新しい
ことを始めるときのエレルギーを抑えてしまう気がします。とくにこのコロ
ナ禍で、身動きが取れない経験をしたから、「やりたいことは今やること
の大切さが身に染みました。**

**「悩むより、勇気をもって、行動を起こそう。何か問題が起きたとき、そ
の解決法を考えればよい。」**ということですね。皆さんはどうですか？やりたいけど、自信がない。失敗したらどうしよう・・とあきら
めた場面はないですか。竹野内さんのように、失敗を恐れずに、チャ
レンジしていきたいですね。